

2. 実行戦略の実施状況と中間評価

2-1 これまでの取組みと評価

2-1-1. 【走る】道路状況に応じた安全な走行環境の実現

【基本的な考え方】

- 自転車との分離による歩行者の安全確保を第一義として、自転車の走行空間を多様な整備手法により確保・整備していく。
- 走行空間整備に合わせた誘導サイン等の整備により、道路の状況に応じてルールを守って通行できるように適切な誘導を行う。

【これまでの取組み状況】

(1) 路線状況に応じた安全な走行空間の整備

- 現計画（全体計画案）における自転車走行空間ネットワークと整備状況は以下のとおり。

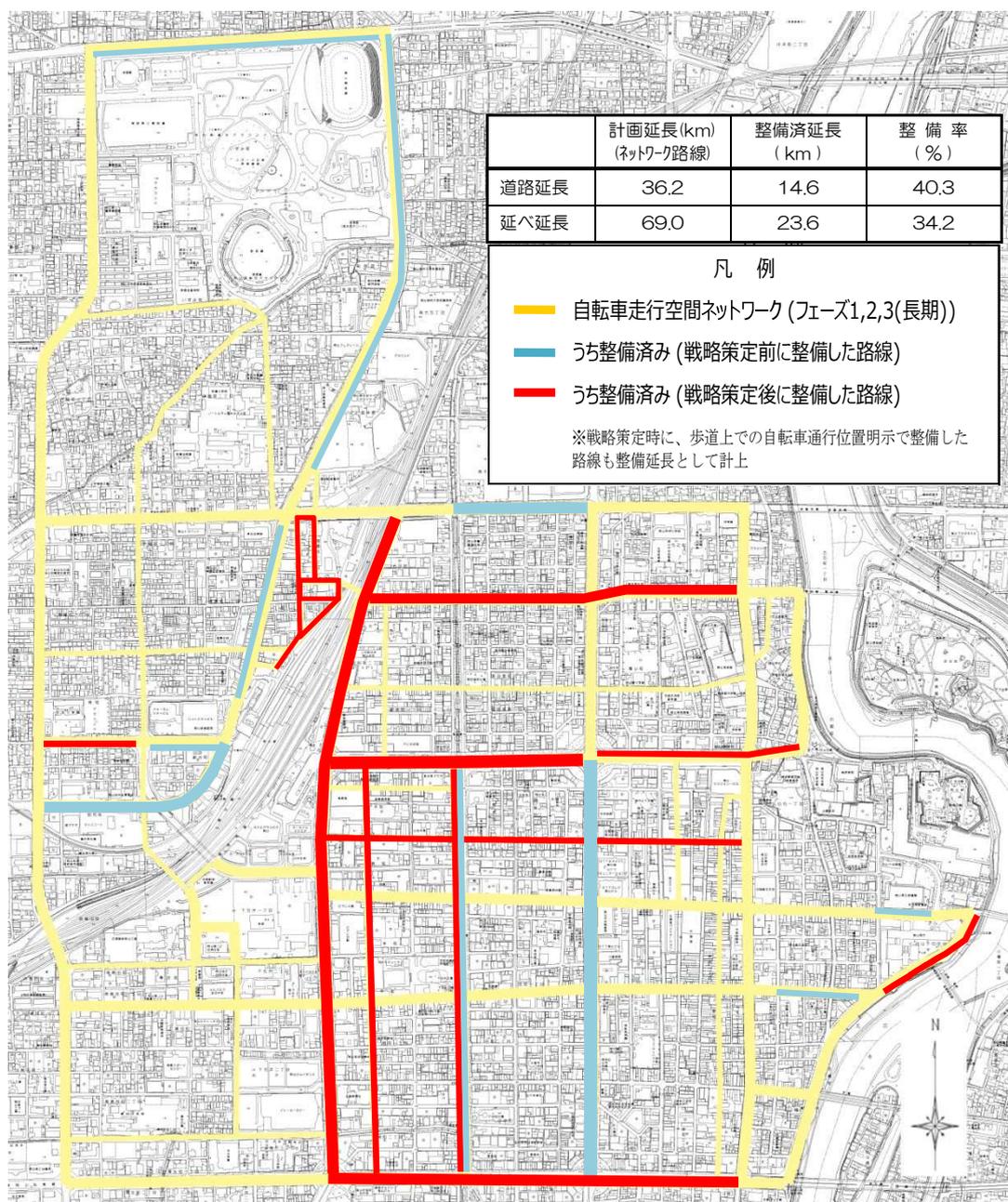


図 全体計画案における自転車走行空間ネットワークと整備状況（平成 29 年度末現在）

○現計画のフェーズ1～2（短中期）における自転車走行空間ネットワークと整備状況は以下のとおり。

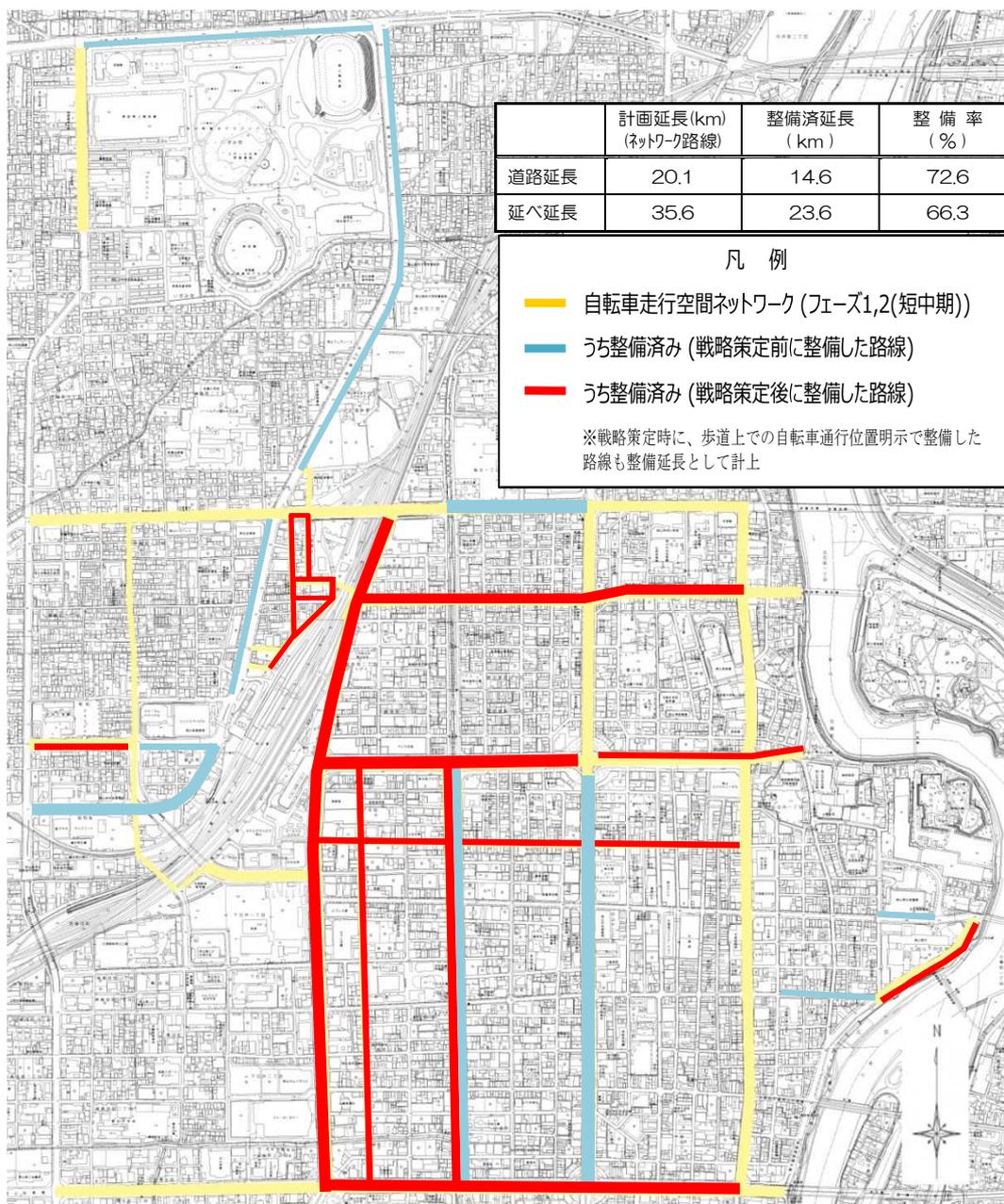


図 フェーズ1～2における自転車走行空間ネットワークと整備状況（平成29年度末現在）

○整備においては、道路状況に応じ様々な手法で行った。

手法	自転車レーン	車道混在	歩道上の通行位置の明示
概要	○路肩をカラー舗装化し、通行位置・進行方向を明示	○車道左側端に通行位置・進行方向を明示	○区画線や路面が-等により、歩道上に自転車の走行位置を明示
	 (市役所筋)	 (市道本町表町線)	 (桃太郎大通り)

整備効果 自転車走行空間の整備による走行状況の変化

○市内の各路線で自転車走行空間の整備を行った結果、各路線とも自転車走行空間を通行する自転車の割合が増えており、歩行者交通との分離が図られてきています。

通行位置別自転車交通量



トピック 自転車走行空間における荷捌き車両への対応

○市役所筋では、貨物車等の荷捌き場所を確保したうえで、自転車の走行空間を確保する工夫をしています。



- 「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」の改定(H28.7)に伴う「歩道等を活用した自転車走行空間の整備」の取り扱いについて。**※ガイドライン改定の詳細は P27 参照**

H28.7 のガイドライン改定では、自転車の車道走行が明確に位置づけられ、自転車走行空間の整備手法から、自転車ネットワーク計画路線での歩道等を活用する整備形態（歩道上の走行位置明示等）が除外された。

■これまでの整備

本戦略では、改定前のガイドラインに基づき、車道部への自転車レーン等の整備のほか、歩道等を活用した「歩道上の物理分離」や「歩道上の視覚分離」も整備形態の一つとして位置付け、整備を進めてきた。

■「歩道等を活用した整備」の取り扱い

これまでは、歩道等を活用した整備形態についても「整備済み」としていたが、ガイドラインの改定を考慮して、歩道等を活用した整備形態を「暫定整備済み」として取り扱う。整備済延長を「整備済み」と「暫定整備済み」に分けて整理すると次の通りとなる。

従来の整備延長整理 ※フェーズ 1,2・延べ延長

計画延長(ネットワーク路線)	35.6km
整備済み延長	23.6km
整備率	66.3%

整備済みと暫定整備済みを分けた整備延長整理 ※フェーズ 1,2・延べ延長

計画延長(ネットワーク路線) 35.6km			
整備済み延長	15.1km	整備済み延長	8.5km
整備率	42.4%	整備率	23.9%

(2)適正な利用を誘導するためのサイン整備

- 自転車交通ルールへの定着に向け、自転車走行空間の整備に合わせ、路面標示や注意喚起等の分かりやすいサインの整備を行った。



走行位置を示す路面標示
(後樂園通り)



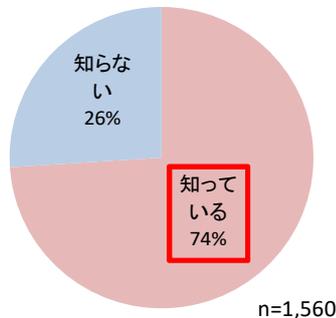
走行方向、逆走禁止の注意喚起を促すサイン (市役所筋)



バス停が近いことを示し、注意喚起をするサイン (市役所筋)

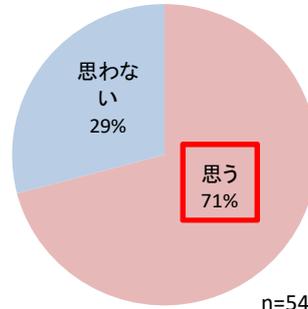
【市民の意識(アンケートから)】

- 自転車走行空間整備は約74%の人が認知しており、自転車走行空間の整備により自転車が走りやすくなったと感じている人は約7割(71%)に上っている。



WEB アンケート調査結果より抜粋

図 自転車走行空間整備の認知度

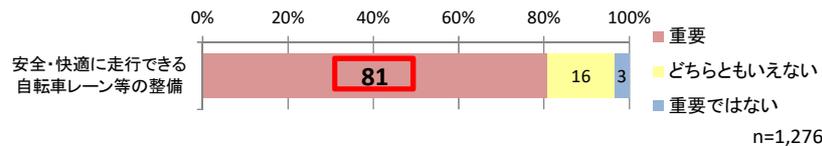


WEB アンケート調査結果より抜粋

図 自転車走行空間整備により走りやすくなったと思うか

左の設問で「知っている」と回答した人(1,155人)のうち、実際に通行したことがある人(546人)の評価

- 「移動手段を自動車から自転車に変更するために重要な施策」として、「自転車レーン等の整備」を挙げる人は80%を超えており、走行空間整備に対する市民の期待が高いことがうかがえる。



WEB アンケート調査結果より抜粋

図 移動手段を自動車から自転車に変更する(変更を考える)ために重要な施策(「走る」関連)

※WEB アンケート調査について
「自転車先進都市おかやま実行戦略中間評価にかかる満足度調査」(平成29年11月実施)
岡山市内居住者1,560名から回答を得た

【施策のまとめ】

- 自転車走行空間ネットワークの整備済み延長は、延べ延長ベースで23.6kmであり、短・中期の計画35.6kmに対し整備率66.3%、全体計画69.0kmに対し34.2%と進捗はやや遅れている。
- 歩行者と自転車の通行位置を分離することにより、自転車走行空間を通行する自転車の割合が増加し、整備効果が現れている。
- 自転車走行空間に関して市民に一定の認知がされ、自転車の走りやすさを感じてもらえている。

2-1-2. 【 停める 】駐輪ニーズへの適正な対応による駐輪対策

【基本的な考え方】

- 路外自転車駐車場の整備等による従来の駅前長時間駐輪への対応に加え、短時間駐輪などの多様な駐輪特性を十分に勘案しながら、総合的な駐輪対策を行っていく。
- 公共による施設整備等の対策に加え、民間による主体的な施設整備の促進とともに、放置禁止区域の拡大などによる各種施策連携を図っていく。

【これまでの取組み状況】

(1) 利用ニーズに対応した駐輪施設整備

- 店舗利用者など短時間駐輪ニーズに対応する駐輪施設や、自転車の端末利用を促進するための交通結節点における駐輪施設を公共及び民間により整備した。

【店舗利用者などの短時間駐輪に対応した駐輪施設】

新設・増設区分	整備主体	名称	収容台数 (台)
新設 (4箇所)	民間	桃太郎大通り路上駐輪場 (市役所筋～西川)	自転車 155
		岡山コンベンションセンター前路上駐輪場	自転車 131
		桃太郎大通り路上駐輪場 (西川～城下)	自転車 240
		田町一丁目自転車等駐車場	自転車 46 原付等 7
合計			自転車 572 原付等 7



桃太郎大通り路上駐輪場

【自転車の端末利用を促進するための交通結節点における駐輪施設】

■鉄道駅周辺

新設・増設区分	整備主体	名称	収容台数 (台)
新設 (2箇所)	岡山市	駅元町北自転車駐車場	自転車 799
		北長瀬駅南口自転車等駐車場	自転車 1,200 原付等 75
増設 ※増設分を掲載 (5箇所)	岡山市	北長瀬駅北口自転車等駐車場	自転車 227
		万富駅前自転車等駐車場	自転車 13 原付等 3
		法界院駅前自転車等駐車場	自転車 74
		迫川駅前自転車等駐車場	自転車 54 原付 5
		下石井高架下自転車等駐車場/バイクスペース	原付等 48
合計			自転車 2,367 原付等 131



駅元町北自転車駐車場

■バス停周辺

新設・増設区分	整備主体	名称	収容台数 (台)
新設 (10箇所)	岡山市	築港栄町東バス停自転車駐車場	自転車 11
		築港元町バス停自転車駐車場	自転車 12
		都六区下バス停自転車等駐車場	自転車 12
		西大寺中野自転車駐車場	自転車 36
		大福バス停自転車等駐車場	自転車 16
		藤井バス停自転車等駐車場	自転車 28
		矢坂大橋バス停自転車等駐車場	自転車 20
		田益バス停自転車等駐車場	自転車 15
		三幡農協前バス停自転車等駐車場	自転車 24
		池の内バス停自転車等駐車場	自転車 9
合計			自転車 183



サイクルアンドバスライド自転車駐車場
(築港元町バス停自転車駐車場)

実行戦略策定後の整備箇所数・整備台数の合計
 整備箇所 : 21箇所
 整備台数 : 自転車 3,122台、原付等 138台

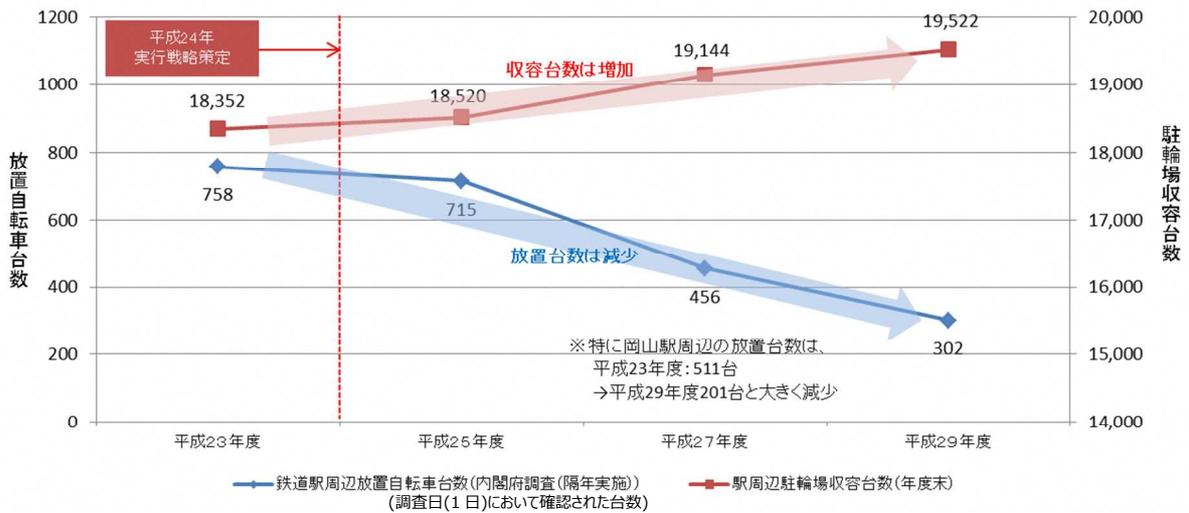


図 市内全駅周辺の駐輪場の収容台数および放置自転車台数の推移
(市内全 33 駅中、24 駅で市が駐輪場を整備)

整備効果 路上駐輪場の整備による効果

○桃太郎大通りにおいては、以前は大量の放置自転車が常態化していたが、路上駐輪場を整備したことにより、放置自転車は概ね解消した。



点字ブロック付近まで放置自転車が溢れていた



整備により歩行空間が広がった

トピック 駐輪ニーズを勘案した料金設定

○桃太郎大通りの路上駐輪場では、岡山駅に近く利便性が高い場所が高め、遠いと安めになるよう料金設定に差を設けている。(右料金表参照)

買物利用等の短時間の駐輪ニーズを勘案した「A料金」は、駅利用者や付近従業員による長時間駐輪を抑制するとともに、施設の利用率(利用への抵抗感を極力抑える)を高める設定とした。

料金表(円)	~2時間	~4時間	~8時間	8時間以降
A料金	無料	100	200	8時間毎に +100
B料金	無料	100		8時間毎に +50

駐輪場位置図



○中心部における整備の進捗状況は以下のとおり

駐輪対策の エリア区分	駐輪施設整備の優先度			フェーズ1～2に おける進捗
	フェーズ 1	フェーズ 2	フェーズ 3	
a : 桃太郎大通り (市役所筋～西川緑道)	<ul style="list-style-type: none"> 駐輪施設の整備 	<ul style="list-style-type: none"> さらなる駐輪施設の必要性検討 (放置の推移把握) 必要に応じ駐輪施設の整備 		a : 施設整備済。放置はほぼ解消 b : 既存駐輪施設を改善済。依然駐輪容量は不足しているものの啓発により放置はやや減少
b : 表町周辺		<ul style="list-style-type: none"> 既存駐輪施設の有効活用 民間施設整備の誘導 		
c : 県庁通り (市役所筋～西川緑道)	<ul style="list-style-type: none"> 駐輪施設整備の必要性検討 適地の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 駐輪施設の整備 		c : 啓発指導強化や施設閉鎖により放置は大幅に減少。大型商業施設開業の影響なし d : 一部施設整備済。依然駐輪容量は不足(放置はやや増加) e : 施設整備済(放置はやや増加) f : 一部施設整備済。依然駐輪容量は不足(放置は減少)
d : 城下周辺				
e : 桃太郎大通り (西川緑道～柳川)	<ul style="list-style-type: none"> 民間施設整備の誘導 			
f : 県庁通り (西川緑道～国道 53 号)				
g : 岡山駅周辺	<ul style="list-style-type: none"> 既存駐輪施設の有効活用 			g : 施設整備済(放置はほぼ無し)
	<ul style="list-style-type: none"> さらなる駐輪施設の必要性検討 (放置の推移把握) 必要に応じ施設整備 			
全 体	<ul style="list-style-type: none"> 撤去活動等の継続と施設整備に応じた内容強化・拡充 案内誘導サイン 			全体 : 施設整備に合わせ、規制強化やサイン整備実施

※市中心部における放置自転車台数の推移は P24 を参照

市中心部駐輪対策エリア区分と路上駐輪の発生状況【H21】

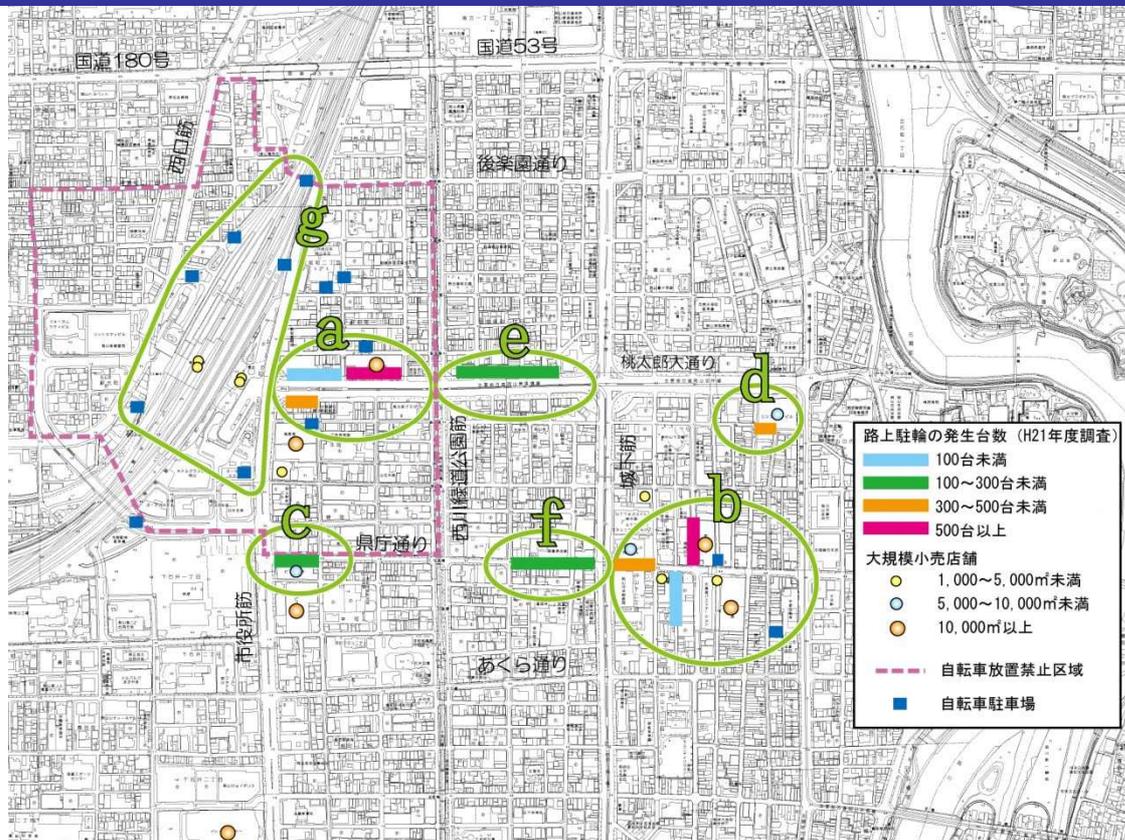


図 駐輪対策のエリア区分 (実行戦略策定時)

(2) 既存駐輪施設の運用見直し等による利用促進

◆利用や回転率向上、利用平準化、運用見直しに向けた取り組み

- 表町2丁目自転車等駐車を2時間無料化（平成26年4月）
（1日あたりの平均利用率 平成23年度：17.2% ⇒ 平成29年度：54.4%）
- 市営有料自転車等駐車場において自動二輪車の受け入れを開始
（平成26年10月より受け入れ。平成29年度末現在 13箇所619台分（台数は原動機付自転車で換算））
- 岡山駅東口高架下第2自転車駐車を有料化（平成30年3月）

◆施設案内を充実させる取り組み

- サイン看板（ピクト+日本語・英語表記）を設置。
（表町2丁目自転車等駐車場・下石井高架下自転車等駐車場）
- 満空標示を整備（岡山駅西口第2自転車等駐車場）
- 市中心部の駐輪場マップを作成・公表（平成29年3月）



図 満空標示
（岡山駅西口第2自転車等駐車場）



図 サイン看板
（表町2丁目自転車等駐車場）



図 駐輪場マップ

(3) 施設整備と連動した放置自転車への規制強化

- イオンモール岡山の開業により、駐輪容量が増加したことに伴い、岡山駅周辺の放置禁止区域を拡大（H26年12月）
- 北長瀬駅南口自転車等駐車場の新設に合わせ、当駅南口周辺を放置禁止区域に指定。（H27年2月）
- 岡山駅東口高架下第2自転車駐車場の有料化に伴い、岡山駅周辺の放置禁止区域を拡大（H30年3月）

	策定前	策定後
市中心部	約53ha ⇒	約127ha
郊外駅周辺部	約82ha ⇒	約133ha

図 自転車等放置禁止区域面積



図 岡山駅周辺 自転車等放置禁止区域

(4) 民間による施設整備の促進

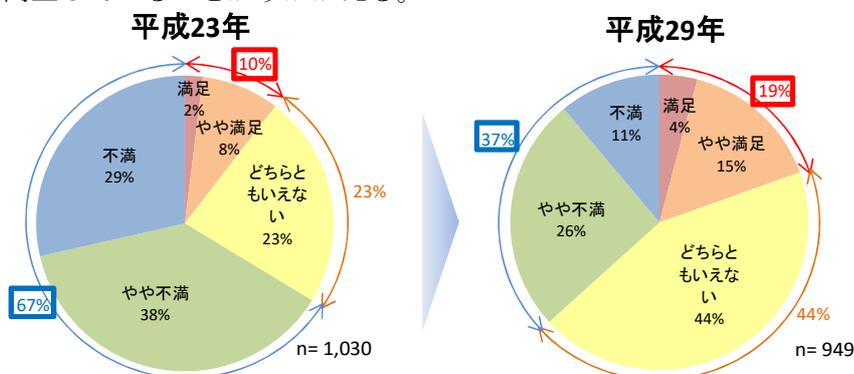
- 路上や市有地での平面施設整備においては、民間資本やノウハウを活用した整備を推進。(右表①～③)
- 岡山市民間自転車等駐輪場整備補助制度を創設(平成28年4月)し、民間駐輪場整備を促進。(実績: 田町一丁目自転車等駐輪場(平成28年11月供用) 右表④)

表 民間による施設整備箇所

区分	名称	収容台数(台)
新設	① 桃太郎大通り路上駐輪場(市役所筋～西川)	自転車 155
	② 岡山コンベンションセンター前路上駐輪場	自転車 131
	③ 桃太郎大通り路上駐輪場(西川～城下)	自転車 240
	④ 田町一丁目自転車等駐輪場	自転車 46 原付等 7
合計		自転車 572 原付等 7

【市民の意識(アンケートから)】

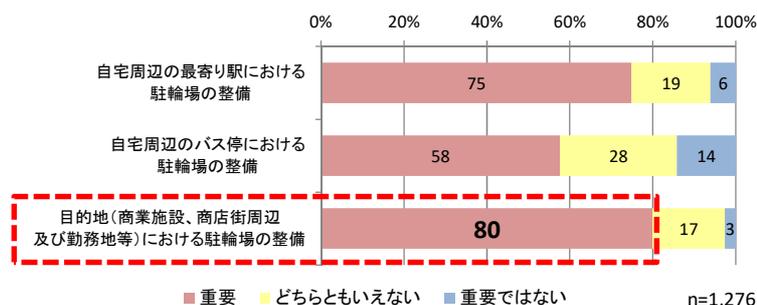
- 商店街や商業施設での駐輪のしやすさについて「満足」あるいは「やや満足」と回答する人は、平成23年時点では10%だったのに対し、平成29年時点では19%に増大している。
- また、「不満」「やや不満」と回答した人が67%から37%に減少している。このことから、満足度が向上していることがうかがえる。



WEB アンケート調査結果より抜粋

図 商店街や商業施設における自転車の駐輪のしやすさの満足度

- 移動手段を自動車から自転車に変更するために重要な施策としては、商業施設や商店街周辺、勤務地等の目的地での駐輪場整備に対する意向が特に多い。



WEB アンケート調査結果より抜粋

図 移動手段を自動車から自転車に変更する(変更を考える)ために重要な施策(「停める」関連)

【施策のまとめ】

- 利用ニーズに対応した駐輪場の整備、案内の充実や料金設定変更、民間事業者への補助制度の創設、民間による駐輪施設整備、施設整備に合わせた規制の強化など、各種施策に取り組んだことにより、特に課題であった岡山駅前の放置自転車が減少する等、施策効果が発現している。
- 店舗利用者や従業員の多い表町周辺など、適地が無いことにより駐輪場の整備が進んでいないエリアにおいては、駐輪容量が不足していることから、依然として放置自転車の減少に至っておらず駐輪容量の確保に努める必要がある。

2-1-3. 【 使う 】公共交通と組合わせた自転車の利用促進

【基本的な考え方】

- 徒歩移動や既存公共交通を補完し、移動の利便性を向上させるため、これまでの社会実験結果を踏まえつつ、コミュニティサイクルの導入を図っていく。
- さらには、公共交通との役割分担に留意しつつ、自動車から「公共交通+自転車」への転換を誘導するための各種利用推進施策を展開する。

【これまでの取組み状況】

(1)コミュニティサイクルの導入

○平成25年7月にコミュニティサイクル（ももちやり）を導入後、利用は順調に増加。平成29年度実績において、日本トップクラスの回転率となっている。

(平成29年度回転率 3.85 回/台・日)

表 ももちやりポート数、自転車台数

年度	ポート数	自転車台数
平成25年度	17	140
平成26年度	25	232
平成27年度	32	282
平成28年度	35	332
平成29年度	34	412

※各年度末時点での値



図 コミュニティサイクル（ももちやり）

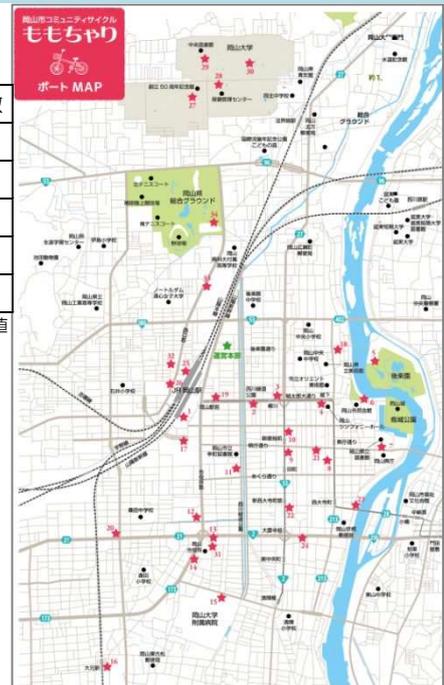


図 ももちやりポート設置箇所 (H29)

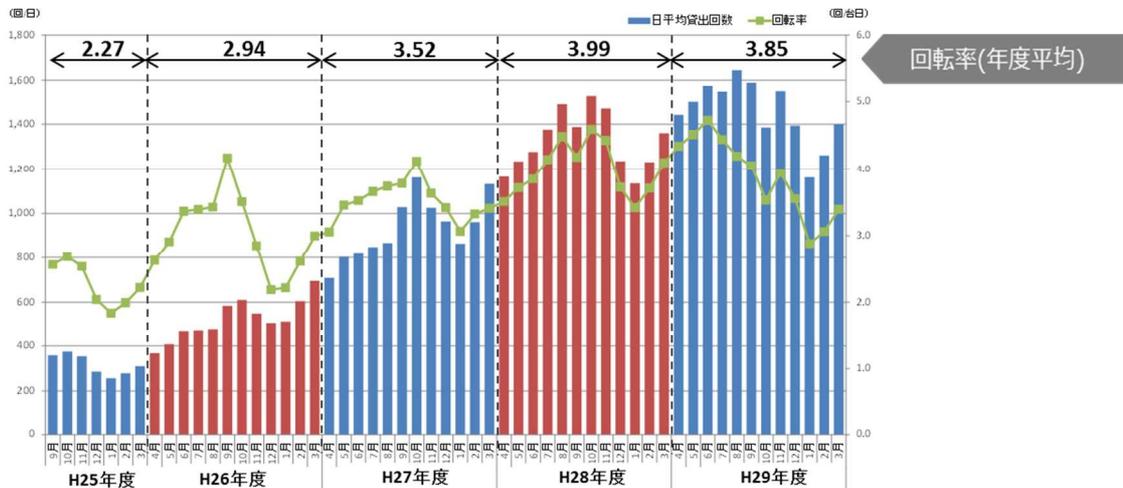


図 ももちやり日平均利用回数・回転率の推移

コラム ももちやりへの自転車の寄贈

○ももちやりでは、活動に賛同いただいている各種団体より自転車の寄贈をいただいています。(計 32 台)

団体	台数	年月	概要
ファジアーノ岡山	1台	平成26年10月	地元プロスポーツ応援企画として寄贈
岡山シーガルズ	1台		
岡山中央ライオンズクラブ	10台	平成29年8月	岡山中央ライオンズクラブ認証40周年記念行事として寄贈
岡山ハーモニーライオンズクラブ	20台	平成30年1月	ライオンズクラブ創立100周年記念行事として寄贈



(2) 自転車の公共交通への持ち込み促進

○鉄道・バス事業者による取組み。

○JR 西日本岡山支社の観光列車「La Malle de Bois」(全車グリーン車指定席)にはサイクルスペースが設置されています(右写真参照)

※組み立てたままの状態では利用できない区間があります
 ※サイクルスペースの利用は前日までに予約が必要です
 ※運行日や区間など、詳しくは「ラマルドボア」で検索して下さい

○岡山電気軌道株式会社では自転車積載ラック設置バスが運行されています

※岡山電気軌道株式会社が定める基準を満たすもの(予約制)
 ※ご利用は岡山駅・新岡山港にて乗降する場合に限り
 ※積載台数は車両により異なります(1台または2台)
 ※運行時刻・ご予約などは岡電バス桑野営業所へお問い合わせ下さい



(3) モビリティマネジメントによる自転車利用の促進

○交通結節点における駐輪施設整備(「停める」2-1-2 関連)

・自転車の端末利用を促進するため、鉄道駅周辺やバス停周辺への駐輪施設を整備した。
 (整備箇所等については「停める」2-1-2(1)参照)

○ももちやりとの連携施策

・平成28年11月より、民間駐車場事業者とももちやりが連携し、ももちやり利用者は駐車料金が100円割引になるサービスを実施。

・街なかでの移動では、ももちやりを利用してもらうよう誘導し、利用は徐々に増加。

(平成28年11月:22回/月 ⇒ 平成29年12月:130回/月)

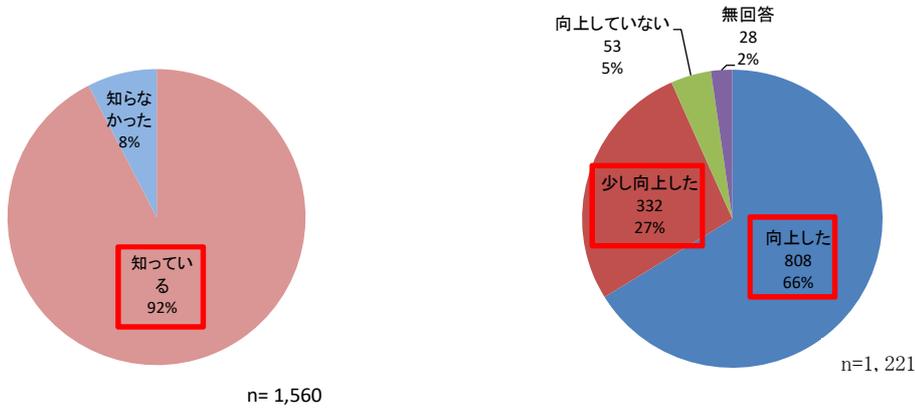


図 駐車料割引サービス実施箇所

【市民の意識(アンケートから)】

○ももちやりの存在を知っている人は90%を超えており広く認知されている。

○ももちやりを利用した人の90%以上が、岡山駅等での乗り換え利便性が向上した(又は少し向上した)と感じている。

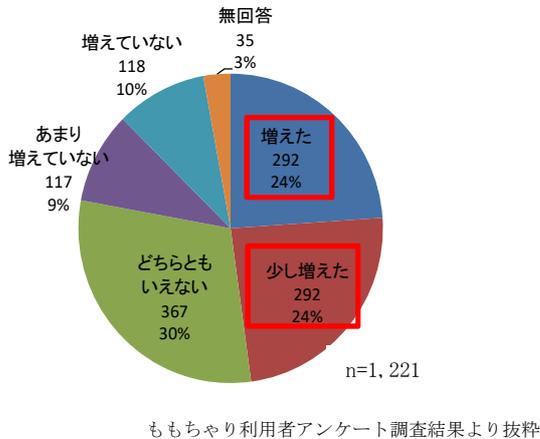


WEB アンケート調査結果より抜粋

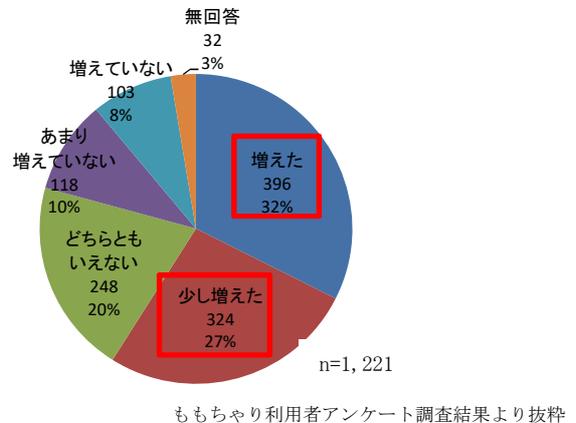
ももちやり利用者アンケート調査結果より抜粋

図 ももちやりの認知状況

図 ももちやり導入による岡山駅等での乗り換え利便性に関する利用者の意識



ももちやり利用者アンケート調査結果より抜粋



ももちやり利用者アンケート調査結果より抜粋

図 ももちやり導入によるまちなかに出かける機会に関する利用者の意識

図 ももちやり導入による立ち寄りのお店や目的地に関する利用者の意識

※ももちやり利用者アンケート調査について
「自転車先進都市おかやま実行戦略中間評価にかかるももちやり利用者アンケート(平成29年11月実施)」

【施策のまとめ】

○ももちやりの利用者数・回転率はともに高水準であり、市民の認知度も高く、中心部における利便性の高い移動手段として確立した。

○自動車から「公共交通+自転車」へ移動手段の転換を促進させる施策展開について、継続して検討が必要。

2-1-4. 【楽しむ】地域・観光活性化に向けた自転車利用振興

【基本的な考え方】

- 地域の自然や歴史的資源を活用し、関係機関との連携によるサイクリングロードの整備等により、市民の健康づくりをはじめ、自転車を楽しめる環境の向上を図っていく。
- また、ネットワークの拡大とあわせ、情報提供や活用イベントの充実により、地域振興や観光振興に寄与する自転車利用シーンの拡大を図る。

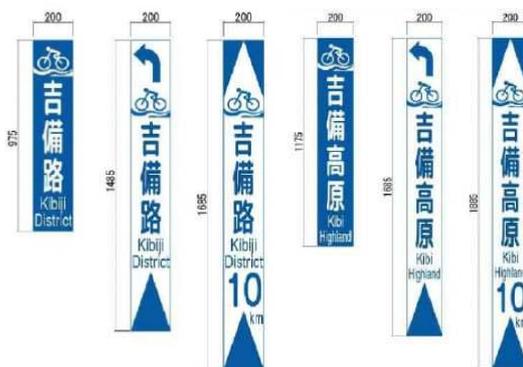
【これまでの取組み状況】

(1)サイクリングネットワークの充実

- 岡山県の「ハレいろ・サイクリング OKAYAMA」プロジェクトにおいて、サイクリングを通じて多くの人を地域に呼び込み、観光振興や賑わい創出につなげることを目的に、県下8ルートを推奨ルートとして設定。
- 岡山市内では、「吉備路自転車道（吉備路自転車道ルート）」と「吉備高原自転車道（岡山鏡野ルート）」を選定し県下統一仕様の路面標示や案内看板の整備を行った。

	延長 ()内は岡山市管理分
吉備路 自転車道ルート	約 22km (約14km)
岡山鏡野 ルート	約113km (約25km)

(路面標示のデザイン)



(整備事例)

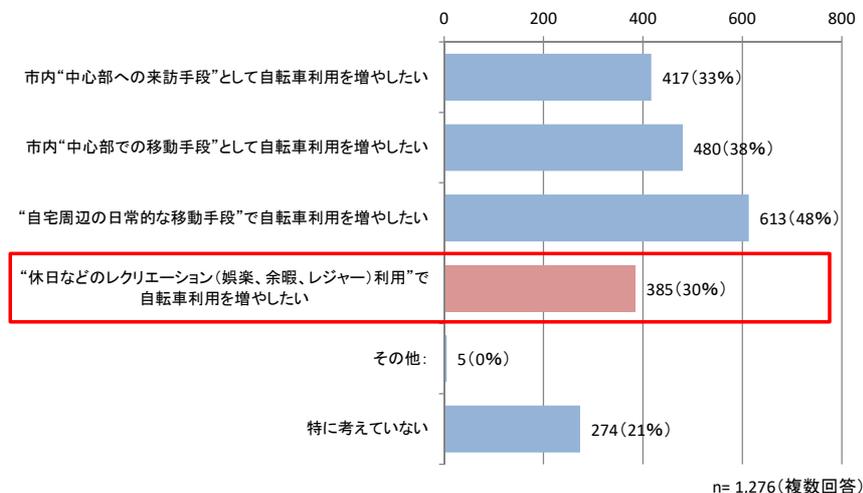


図 爽快！岡山満喫サイクリングルート事業推奨ルート

図 県下統一仕様の路面標示

【市民の意識(アンケートから)】

○今後、自転車の利用を増やしたいシーンとして「休日などのレクリエーション(娯楽、余暇、レジャー)」を挙げている人の割合は約30%である。



※WEB アンケート調査結果より抜粋

図 今後、自転車利用を増やしたいシーン

【施策のまとめ】

- サイクリングロードを再整備し、ルート案内標示が充実したことから、サイクリングを通じて地域資源を認識するとともに、心身の健康増進を意識する契機となり得る。
- 自転車の利用につながるよう、休日などのレクリエーションで自転車を利用する取り組みを検討する必要がある。

2-1-5. 【学ぶ】自転車利用のマナーアップ

【基本的な考え方】

- 関係機関との連携により、教育・広報・指導・啓発を総合的に推進し、通行ルールや利用マナーの周知、及び遵守率の向上を図っていく。
- さらに、自転車先進都市としての積極的な情報発信により、地域外へのアピールと地域内への啓発など、施策の相乗的な効果の発現を図っていく。

【これまでの取組み状況】

(1) 関係機関との連携による自転車マナーの向上

- 従来からの啓発活動のほか、新たな取り組みを行った。

表 ルール・マナーの啓発活動の実施状況（新規実施）

事業名称	概要	主体	開催回数（年度毎）						備考
			H24	H25	H26	H27	H28	H29	
自転車安全運転免許証交付事業	・小学4年～6年生に対し実技講習を伴う交通安全教室を実施し、修了者に自転車安全運転免許証を交付する	岡山市	-	-	-	6校 (モデル事業)	72校	71校	平成27年度より新規
放置自転車夜間啓発指導	・放置自転車に対して啓発チラシ貼付等を実施	岡山市、県警、商店街、町内会、鉄道事業者など	-	-	-	1回	2回	2回	平成27年度より新規 8月、12月に実施
コミュニティFMラジオCM放送による啓発	・春・秋にCM放送	岡山市	-	-	-	-	春：17日間19回 秋：15日間19回	春：10日間19回 秋：10日間19回	平成28年度より新規 交通安全運動に合わせ実施
リアード・ストリートによる啓発	・市内高校・中学校においてスタントマンによる事故現場を再現する方法による交通安全教育	県警、岡山市、交通安全協議会など	1回	2回	2回	2回	2回	2回	平成24年度より新規

(参考) 従来からの啓発活動の開催状況

事業名称	概要
幼児・学生に対する交通安全教室	・小中学校等で開催 ・実技指導やDVD等による指導を実施 ・幼稚園や保育園では、保護者に対してルールの指導を実施
無灯火指導	・駅前や交差点等の街頭で実施
放置自転車クリーン作戦	・放置禁止の啓発チラシ等を街頭で配布
サイクルマナーアップ	・街頭において、声かけ、チラシ配布、反射材配布などを実施



図 自転車安全運転免許証交付事業における実技指導の様子



図 自転車安全運転免許証



図 市公用自転車への啓発プレート

(2)自動車ドライバーに対する啓発活動の推進

- 自転車ルールマナー啓発用のコミュニティ FM ラジオCMを制作し放送（平成 28 年度より、春・秋の交通安全週間に合わせ放送）

(3)情報発信による「自転車推進都市おかやま」の推進

- 自転車利用チラシを作成し、効果的に自転車ルール・マナーや自転車施策について周知するため、市への転入者や市内の大学入学者を対象に配布
- 市広報紙への掲載
- 駐輪場マップを商店街へ掲示し、自転車の商組合を通し販売店へ配布



図 自転車利用チラシ



図 啓発用冊子

コラム ももちゃりの安全対策

- ももちゃりでは、年1回自転車の点検を実施し安全管理を行うとともに、日本交通管理技術協会の第二種TSマーク付帯保険に加入し、万が一の事故にも備えています。



コラム 民間企業による啓発活動

- 岡山市内では、市から撤去した自転車を民間会社へ無償で貸与し、民間会社がこれを活用して交通安全の啓発活動を実施する取組みが行われています。

【株式会社岡田商運による取組み】

トラックの死角の再現などによる交通安全教室の開催（12校、19回（小学校18回、中学校1回実施））



【施策のまとめ】

- 自転車利用に関するルール・マナーの定着に向け、以前から継続してきた活動に加え、新たな取組みも実施した。
- 自転車ルール・マナーの定着や放置自転車の解消に向け、継続的な取り組みが必要。

【 進捗状況まとめ 】

5つの施策分野	実施施策	進捗状況	フェーズ1, 2の進捗まとめ
走る	路線状況に応じた安全な走行空間整備	やや遅れ	<ul style="list-style-type: none"> 中心部（重点エリア）を約24km整備 整備率約66% ※延べ延長ベース
	適正な利用を誘導するためのサイン整備	順調	<ul style="list-style-type: none"> 整備に合わせ、路面標示や注意喚起のサイン等を整備
停める	利用ニーズに対応した駐輪施設整備	概ね順調	<ul style="list-style-type: none"> 桃太郎大通りなど目的地となる商業施設等に近い場所を中心に駐輪施設を整備。 利用ニーズを踏まえ、二輪車の駐輪施設を整備。 (計21か所 自転車3,122台, 原付等138台) 交通結節点における駐輪施設整備(鉄道駅周辺2か所(自転車1,999台, 原付75台), バス停周辺10か所(自転車183台分)) 表町周辺などで一部で駐輪施設の整備が進んでいない
	既存駐輪施設の運用見直し等による利用促進	順調	<ul style="list-style-type: none"> 短時間無料化や時間課金制の採用, マップの作成・配布等を実施
	施設整備と連動した放置自転車への規制強化	順調	<ul style="list-style-type: none"> 自転車等放置禁止区域の拡大(中心部74ha, 北長瀬南口周辺51ha)
	民間による施設整備の促進	概ね順調	<ul style="list-style-type: none"> 民間事業者への補助制度を創設 民間事業者により4か所(自転車572台, 原付等7台)の駐輪施設を整備
使う	コミュニティサイクルの導入	順調	<ul style="list-style-type: none"> 平成25年7月に導入 ポート 17か所 → 34か所 自転車 140台 → 412台
	自転車の公共交通への持込み促進	順調	<ul style="list-style-type: none"> 鉄道, バス事業者による取組開始
	モビリティマネジメントによる自転車利用の推進	順調	<ul style="list-style-type: none"> 民間駐車場でももちやりに乗り換えた場合、駐車料金が割引となる取り組みを実施
楽しむ	サイクリングネットワークの充実	順調	<ul style="list-style-type: none"> 吉備路, 吉備高原自転車道(延長計約40km)にルート案内のための路面標示を整備
	自転車利用シーンの拡大	遅れ	<ul style="list-style-type: none"> 未検討(平成30年度にサイクリングマップを作成)
学ぶ	関係機関との連携による自転車マナーの向上	順調	<ul style="list-style-type: none"> 以前からの継続活動に加え, 新たな取り組みを開始(自転車安全運転免許証交付事業, 放置自転車夜間啓発, コミュニティFMラジオCM放送, スクエアードストレートによる啓発)
	自動車ドライバーに対する啓発活動の推進	順調	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティFMラジオCMによる新たな啓発を開始
	情報発信による「自転車先進都市おかやま」の推進	順調	<ul style="list-style-type: none"> 市の転入者向けのチラシ作成・配布, 広報紙への掲載, 駐輪場マップの作成

2-2 数値目標（成果指標）の達成状況について

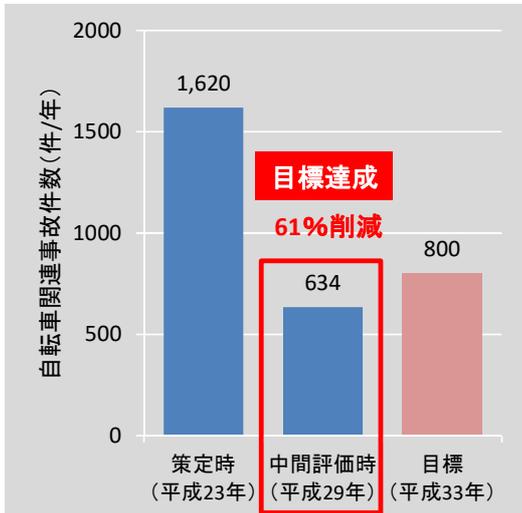
実行戦略策定時における成果指標（アウトカム）と、中間評価における達成状況は以下のとおり。

3つの基本コンセプト	成果指標（アウトカム） （10年後（H33年度時点））	中間評価における達成状況 （平成29年度末時点）
安全	○自転車関連事故件数 現況値：1,620件/年 ⇒ <u>目標値：800件/年（50%減）</u> ＊現況値は、交通年鑑 平成23年資料版（H23年時点）	634件 目標達成 （約61%減） ＊平成29年 （岡山市交通概況）
	○自転車の走りやすさに対する満足度 現況値：29.5% ⇒ <u>目標値：50.0%（2人に1人）</u> ＊現況値は、H23年街路交通課実施の岡山市民アンケート調査	33.5% （約4%増） ＊平成29年度 web アンケート
便利	○放置自転車台数 現況値：5,691台 ⇒ <u>目標値：2,800台（50%減）</u> （平日2,805台/日、休日2,886台/日） ＊現況値は、H22.3自転車等の利用環境に関する基礎調査（都心部10地点の合計）	3,198台 （約44%減） ＊平成29年度放置自転車台数調査（現況値の観測場所と同一地点）
	○駐輪しやすさに対する満足度（商店街や商業施設） 現況値：10.1% ⇒ <u>目標値：50.0%（2人に1人）</u> ＊現況値は、H23年街路交通課実施の岡山市民アンケート調査	19.5% （約9.4%増） ＊平成29年度 web アンケート
楽しく	○コミュニティサイクル利用回数（回転率） 現況値：0.22回/日 ⇒ <u>目標値：1.0回/日</u> ＊現況値は、H23年度社会実験実績 ＊目標値は、国内本格導入事例である富山市（0.77回/台・日）を上回る数値を設定	3.85回/日 目標達成 （目標値の約4倍） ＊平成29年度実績
○自転車利用環境等の総合満足度 （市中心部の自転車利用にかかわる全体評価） 現況値：10.1% ⇒ <u>目標値：50.0%（2人に1人）</u>		24.8% （約14.7%増） ＊平成29年度 web アンケート

※成果指標（アウトカム）の目標値については、実行戦略策定時に、以下の考え方で設定を行った。

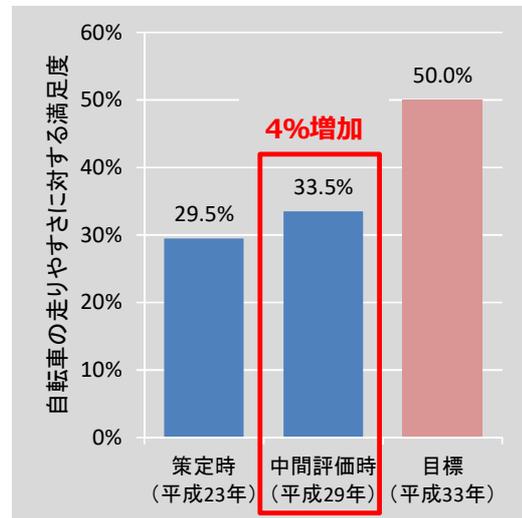
- 国内他都市に比較可能な指標が有る場合には、トップクラスの数値を目標値とする
- 市民アンケートによる満足度は、「2人に1人」が満足とする50%を目標値とする
- 単純に比較可能な指標が存在しない場合には、「現況値の50%増・減」と設定する

1. 「安全」に対する達成度



(参考) 全人身事故件数に占める自転車関連事故件数
H23年: 21.8% = H29年: 19.1%

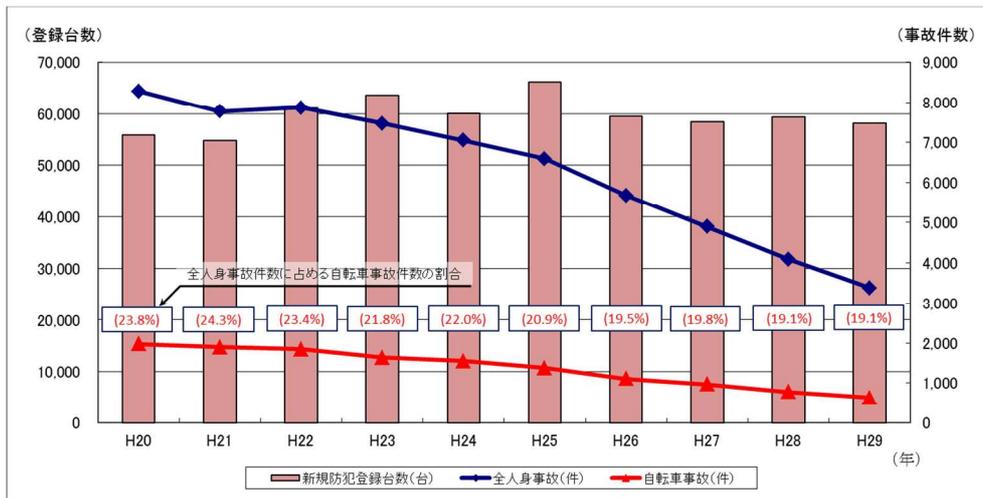
図 自転車関連事故件数



※WEB アンケート調査結果より抜粋

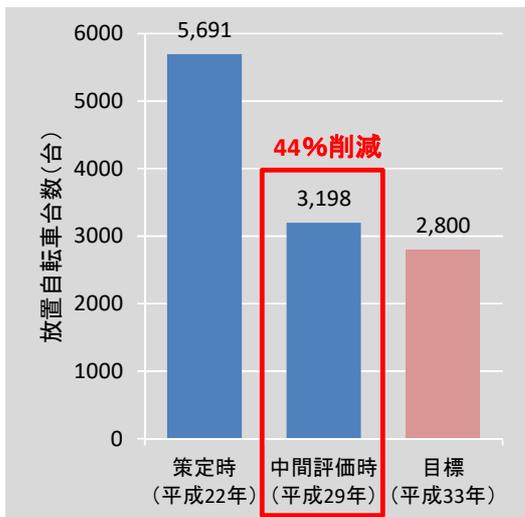
図 自転車の走りやすさに対する満足度

(参考) 自転車登録台数と全人身事故及び自転車事故の推移



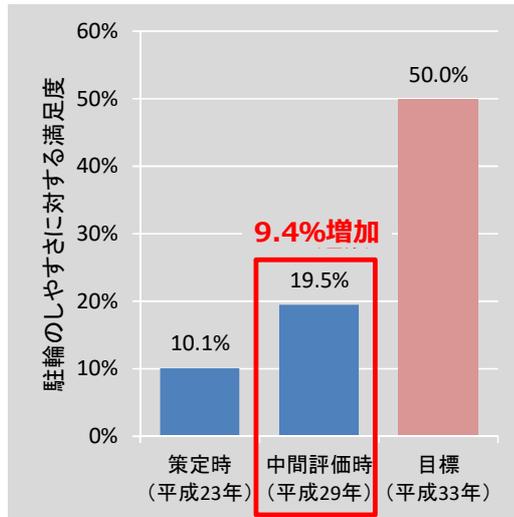
- 注) 1. 交通事故資料は、岡山県警察本部交通部交通企画課調べ。
 2. 新規登録台数は、岡山県自転車軽自動車商協同組合調べ。
 3. 全人身事故とは、岡山市内で発生した人身事故件数である。(高速道、指定自専道の事故は除く)
 ※平成27年までは吉備中央町を含み、旧瀬戸町を含んでいなかったが、平成28年より岡山市内の件数に変更している。
 4. 自転車事故とは、岡山市内で発生した自転車に関係する人身事故の件数である。
 5. 比率とは、自転車事故件数の全人身事故件数に対する比率である。
 6. 死者、負傷者とは、岡山市内で発生した人身事故において、自転車乗用中に死傷した人数である。
 7. 新規登録台数は、年度毎の集計、その他は、年次毎の集計。

2. 「便利」に対する達成度



※放置自転車台数調査 (H29 岡山市調べ) より

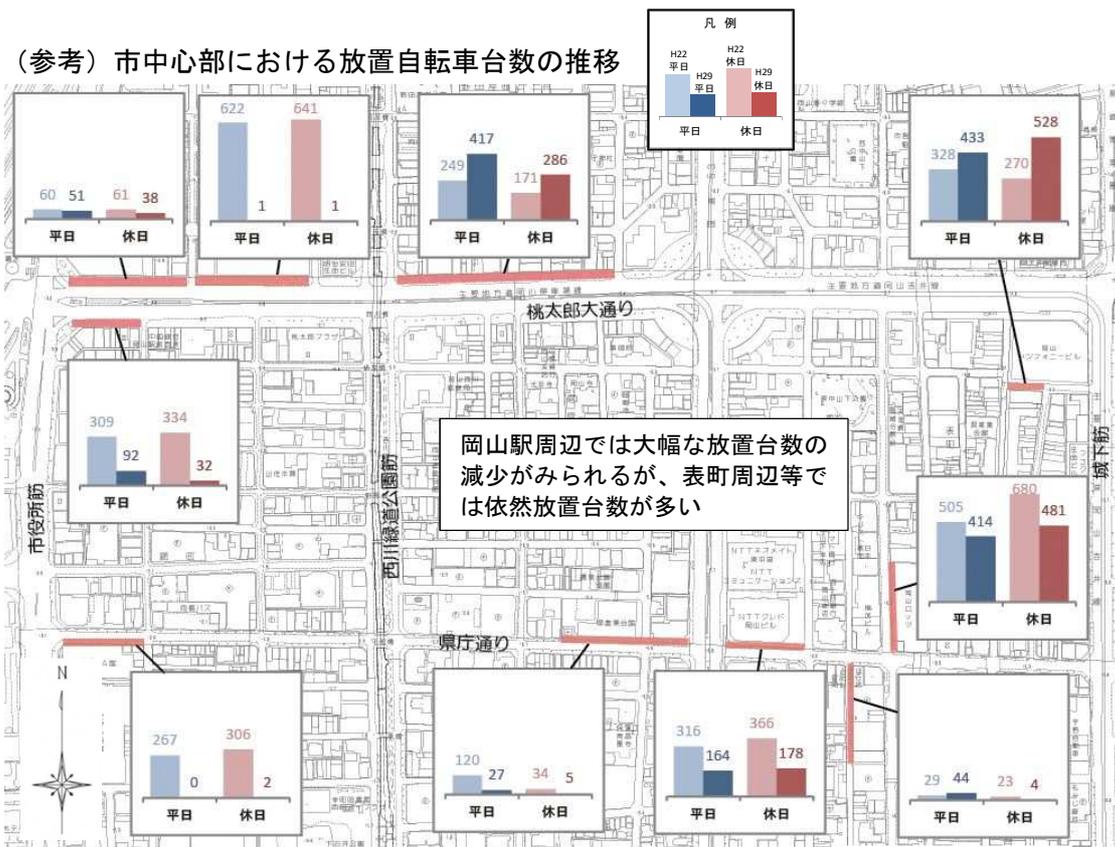
図 放置自転車台数



※WEB アンケート調査結果より抜粋

図 駐輪のしやすさに対する満足度

(参考) 市中心部における放置自転車台数の推移



平成22年 平日：2月17日(水)、休日：1月24日(日) 8-19時 調査

平成29年 平日：10月24日(火)、休日：11月3日(祝) (一部11月23日(祝)) 8-19時 調査

放置自転車の多い代表的な地点を選出して調査を実施
 15分ごとに巡回し累積の駐輪台数を計測

3. 「楽しく」に対する達成度

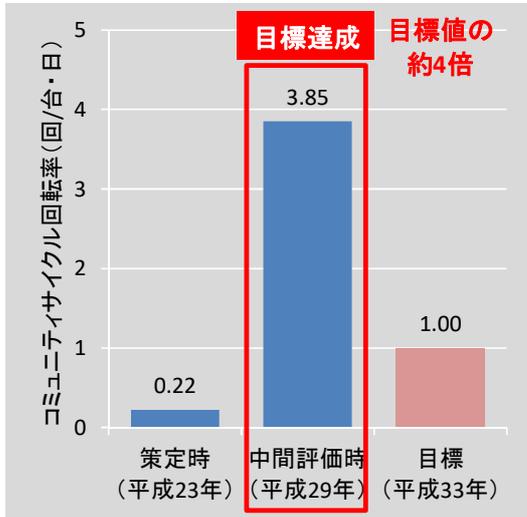
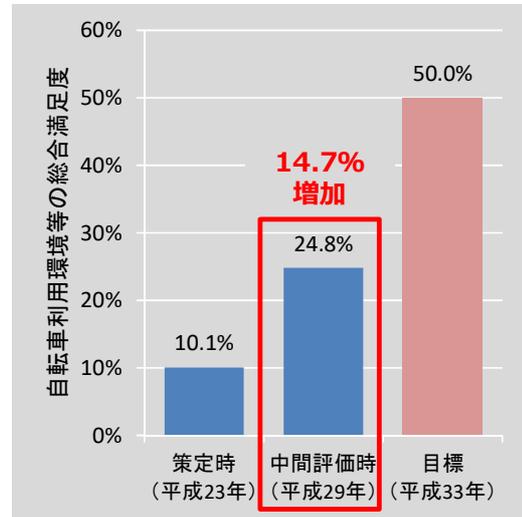


図 コミュニティサイクルの回転率

4. 総合満足度



※WEB アンケート調査結果より抜粋

図 自転車利用環境等の総合満足度

総括

- 自転車事故件数は減少し続け目標値を達成している。一方、全人身事故件数に対する自転車事故件数の割合はほぼ2割で横ばいのため、今後とも引き続きハードおよびソフトの施策を推進する必要がある。
- 放置自転車台数は目標値近くまで減少している。一方、対策が不十分のエリアもあるため引き続きハードおよびソフトの施策を推進する必要がある。
- コミュニティサイクルの回転率は全国トップクラスの状況に達している。引き続き現在の規模で好調な利用状況を継続していく。
- 満足度については、いずれの項目についても策定時よりも向上する結果となっているが、未だ目標値には到達していないため、今後も引き続き施策の推進に努め、さらなる満足度の向上を目指す。